

A B r i e f N o t e N o . 2 2 5

発行日：2014年2月4日

ジャコウアゲハの成長記録

千葉県 八千代市 米本 松尾 昌泰

(1) はじめに

ジャコウアゲハの数が少なくなってきたとかで、八千代市役所では幼虫の餌になる、つる性植物「ウマノスズクサ」の育成を推奨しています。松尾も数年前からこの植物を庭に植えていますが、去年は大きく茂り、ジャコウアゲハがよく飛んできていたので、ジャコウアゲハの成長を記録しました。

ジャコウアゲハは黒い翅を持ち、後ろ翅の周縁部には数個の橙色の斑点がある蝶で、胴体部に赤と黒の斑模様があります。他のアゲハと違って、ひらひらとゆっくり舞う姿はたいへん優雅です。

私には匂いませんが、雄が発する匂いが鹿の麝香に似るから「ジャコウアゲハ」と言う名前がついたとの由来があります。



(2) ウマノスズクサに産卵

幼虫の餌になるウマノスズクサ（と山地に生えるオオバウマノスズクサ）だけに有毒なアリストロキア酸が含まれています。ジャコウアゲハの雌は、このウマノスズクサを求めて葉の裏に、だいたい3個ずつ纏めて産卵していきます。

ジャコウアゲハの雌は、どうやってウマノスズクサを見つけて産卵するのか？

それは、雌の前肢には多数の針のような毛があり、この前肢で葉の表面をひっかいて傷をつけ、前肢の感覚器官で判断しているそうです。

ジャコウアゲハはウマノスズクサに産んだ卵にアリストロキア酸を含むクリームを塗布して外敵から守ります。



(3) 孵化して幼虫へ、幼虫は脱皮を繰り返し大きく

孵化した幼虫は、まずアリストロキア酸が塗られた卵の殻を食べて毒で武装します。



幼虫（羽化した時には1齢と云います）は、4回ほど脱皮し5齢になります。



(4) 安心して羽化できる場所を探して蛹に

幼虫が5歳の終齢期になると、食草を離れ地上を這って何メートルも離れたところにある建物のモルタル壁や、近くの樹木によじ登ります。高いのは2、3メートルも登ります。安心して羽化できる場所を探します。(下の写真は、玄関わきの外壁の2mぐらいの所)



場所が決まったら、幼虫は細い釣り糸のような白い糸を吐いて自分の身体を壁に固定し、脱皮して蛹化します。脱いだ黒白の服は下に落とします。



(5) 羽化していよいよ蝶に

蛹から羽化しました。まだ羽は伸びきっていません。蝶の誕生です。



次の写真は、庭の立木の切り枝で羽化した雌の蝶の誕生です。



(6) 子孫を残す為に 雌は羽化の直後に

2013年7月31日に羽化したばかりの雌に、雄が飛んできて交尾します。まだ羽化したばかりなのに、そんなことがあっても良いのだろうか？調べてみたら、やはり、それなりの成長はしているようです。

下の写真の左の方にある蛹の殻から出てきた（羽化した）ばかりですが、もう交尾です。



羽化直後の雌を狙う雄たち

庭のオシロイバナに、動いている黒いものがあるので、何んだらうか・・・と観察すると、4匹のジャコウアゲハがうごめいていた。2匹が交尾中にも関わらず、その周りで雄2匹が盛んにアタックしていた。もう無理だと思いが・・・。何匹もの雄が寄ってくるのは、まだ雌からフェロモンが出ているのだろうか？

下の写真は、2匹の雄が動き回っているのので、手を伸ばして一匹を追い払い、やっと撮影しました。



雄が離れてからは、雌には他の雄はなぜか近寄ってこない。もうフェロモンを出していないのだろうか？ 自然界の不思議です。

(7) やられっぱなしのウマノスズクサ と 次の産卵場所は？

ウマノスズクサとジャコウアゲハとの「ギブ アンド テイク」ではないのか？



我が家の庭の生い茂っていたウマノスズクサは、7月末には葉はほとんどなくなり、茎さえも食べられたり食いちぎられたりして、丸坊主になってしまった。しかし8月下旬になれば、再び、つるが出てきて若葉もつき始めました。まだ、茂りきってないウマノスズクサに、雌が飛来して産卵していきます。

(8) ジャコウアゲハは蛹で越冬

ジャコウアゲハは、卵・幼虫・蛹・成虫のサイクルを、千葉県八千代地区では年3回程度繰り返すようです。

気温が低くなったら蛹で越冬です。いろんなところで蛹になります。近くを探すと、今では、我が家の玄関先、外壁や近くの樹木、そして隣の家の塀などで越冬しています。数えてみたら14匹ほどが確認でき、春が楽しみです。

天敵

幼虫は、有毒のアリストロキア酸を含むウマノスズクサを食べて、小鳥などから身を護っており、他のアゲハに比べればジャコウアゲハには天敵が少ない。

しかし天敵の「アゲハヒメバチ」は凄いことをやります。アゲハヒメバチ(体長16mm)はジャコウアゲハの幼虫に産卵し、ジャコウアゲハが蛹になってから、蛹の中で孵化しその内部を食べつくして羽化します。そして中から蛹に穴を開けて出てくるそうです。我が家でも、小さな穴が開けられた蛹が外壁に付いています。中は空っぽです。きっとアゲハヒメバチにやられたのだと思います。

我が家から育ったジャコウアゲハ(約100匹)

庭から羽化したジャコウアゲハは延べ約100匹程度でしょうか。近くには食餌になるウマノスズクサを見かけなかったが、旅だったジャコウアゲハは、どこで見つけて産卵し、更に蛹になっているのだろうか？

また春には、優雅な姿で我が家や近所に現れてもらいたい。

以上